

## 教育グループ 1 平成 28 年度 第 2 回 議事録

【年間テーマ 抑制を廃止するための取り組み】

平成 28 年 6 月 19 日 提出

日付	平成 28 年 6 月 11 日 (土)			
場所	福岡ビル		記録者名：秋篠 あい子	
出席者 (敬称略)	古森病院 高馬 早苗	西福岡病院 落合 慶子	博多永野病院 山下 礼子	北九州湯川病院 岩見 実穂子
	東福岡病院 淵上 聡子	北九州古賀病院 秋篠 あい子	医療法人親和会 共立病院 岡本 慎介	稲築病院 大塚 満徳
	東福岡和仁会病院 西山 直美	津屋崎中央病院 石井 喜一郎		
テーマ	抑制の現状についての取り組み方法、対策、意見交換			
結論	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設、ミトン使用患者が病棟単位で 2～10 名程度いる現状。</li> <li>ミトン 0 名の施設では、短い経鼻栄養チューブを使用する、経管栄養剤を半固形流動食にして加圧バッグを使用する、見守りを行う等で対応できている。また、医師の抑制廃止に対する意識も高く、取り組みに積極的に関わっている。</li> <li>抑制の基準や同意書等について各施設ほぼ同様の内容であるが、抑制開始後の経過記録方法やカンファレンスの実施の頻度については多少の違いがあった。</li> <li>スタッフに、抑制に対する意識調査アンケートを実施し、フィードバックして意識付けを行っている施設もある。</li> </ul>			
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>他施設の抑制の基準書、抑制をしないための具体的方法、意識調査アンケート等を持ち帰り、自施設の上司やスタッフへ伝達し、検討する。</li> </ul>			
備考	司会：淵上 聡子			
次回討論項目	他病院での取り組み、対策を踏まえて活動報告			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス [info@fukuokakenryo.jp](mailto:info@fukuokakenryo.jp)

(FAX.092-691-3961)